

- 問1 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われています。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温められるため。 | 2. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。 | 3. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。 | 4. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。 |
|---|---|---|---|
- 問2 九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 広大な土地を利用した乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工 | 2. 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培 | 3. 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業 | 4. 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培 |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問3 九州地方南部に広がるシラス台地と呼ばれる地形において、その土地の性質を活かして行われている農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|---|---|
| 1. 水はけが良すぎる土地条件を活かし、肉用牛や豚などの飼育を中心とした畜産が行われている。 | 2. 平坦な大平原を利用して、機械化された大規模な稲作が行われている。 | 3. 都市への近さを活かして、乳牛を飼育し生乳を出荷する酪農が最も盛んである。 | 4. 冬でも温暖な気候を利用して、ピーマンや促成栽培による野菜作りが中心となっている。 |
|--|-------------------------------------|---|---|
- 問4 九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|----------|
| 1. 親潮 | 2. 黒潮 | 3. 対馬海流 | 4. リマン海流 |
|-------|-------|---------|----------|
- 問5 福岡空港において、訪日外国人の地域別割合で韓国からの利用者が約半数に達するなど、アジア諸国からの利用が特に多い理由として最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 欧米諸国との貿易の拠点として、19世紀から大規模な国際空港として整備されたため | 2. 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため | 3. 空港周辺に広大な農地が広がり、アジア向け農産物の輸出が中心となっているため | 4. 首都圏に近接しており、日本国内の全ての空港の中で最も滑走路数が多いため |
|--|---|--|--|
- 問6 1960年代の北九州市は、重化学工業の発展に伴って深刻な環境問題に直面しました。この状況を克服し、現在は環境モデル都市として知られるようになるまでに行われた取り組みの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 全ての工場を市外へ移転させることで、工業都市から観光都市への全面的な転換を図った。 | 2. 二酸化炭素の排出を抑えるため、太陽光発電などの再生可能エネルギーのみを全産業の動力とした。 | 3. 地震や津波などの自然災害に備え、沿岸部の工場地帯を解体して内陸部へ居住区を移した。 | 4. 市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。 |
|--|--|--|--|
- 問7 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には（①）が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと（②）が流れている。これらはどちらも（③）であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流 | 2. ①黒潮（日本海流） ②リマン海流 ③暖流 | 3. ①親潮（千島海流） ②対馬海流 ③寒流 | 4. ①親潮（千島海流） ②リマン海流 ③寒流 |
|------------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|
- 問8 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。 | 2. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため | 3. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。 | 4. 高度経済成長が終わりを迎え、これまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。 |
|--|---|--|---|
- 問9 九州地方の産業統計において、金属製品の出荷額が5,000億円を超え、さらに観光やビジネスに伴う宿泊旅行者数が年間350万人を上回るなど、製造業とサービス業の両面で中心的な役割を果たしている県はどこですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 宮崎県 | 2. 福岡県 | 3. 鹿児島県 | 4. 佐賀県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問10 九州地方の南から日本の太平洋側に沿って流れる海流について、低緯度から流れてくる「暖流」であり、周辺地域に冬でも温暖な気候をもたらす特性を持つものの名称はどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|---------|-------------|
| 1. 黒潮（日本海流） | 2. リマン海流 | 3. 対馬海流 | 4. 親潮（千島海流） |
|-------------|----------|---------|-------------|
- 問11 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。 | 2. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。 | 3. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。 | 4. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。 |
|---|--|---|--|
- 問12 九州地方の南端に位置する鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|---|
| 1. 九州新幹線的全線開通により、宮崎市との間の移動時間が大幅に短縮された。 | 2. 有明海に面した干拓地を利用して、大規模な海苔の養殖が行われている。 | 3. 県全体がなだらかな平野で構成されており、日本有数の米どころとなっている。 | 4. シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。 |
|--|--------------------------------------|---|---|
- 問13 ある地域に関する統計資料において、人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示し、製造品出荷額が他の地域と比較して低い一方で、海面漁業や畜産業の産出額が一定の規模を持つ都道府県はどこですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 北海道 | 2. 沖縄県 | 3. 鹿児島県 | 4. 東京都 |
|--------|--------|---------|--------|